

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2026年7月31日まで（1996年8月1日設定）	
運用方針	マザーファンドを通じて、NASDAQ市場に上場されている株式に投資し、キャピタルゲインの積極的な獲得をめざします。組入銘柄につきましては、ボトムアップ・アプローチを基本として、個別銘柄のファンダメンタルを重視した銘柄選定を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。	
主要運用対象	ベビーファンド	NASDAQマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、当ファンドで直接投資することがあります。
	マザーファンド	NASDAQ市場に上場されている株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

三菱UFJ NASDAQオープン Aコース



第25期（決算日：2021年8月2日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「三菱UFJ NASDAQオープン Aコース」は、去る8月2日に第25期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数) NASDAQ総合指数		株式 組入比率	株式 先物比率	純資産 総額
	(分配落)	税 分	込 配	み 金	期 騰			
	円	円	円	(円ヘッジベース)	騰 落	%	%	百万円
21期(2017年7月31日)	6,992		0	19.3	216.12	21.7	93.9	1,872
22期(2018年7月31日)	8,430		0	20.6	253.22	17.2	93.6	2,316
23期(2019年7月31日)	9,018		0	7.0	266.79	5.4	93.1	2,475
24期(2020年7月31日)	10,758		800	28.2	335.17	25.6	95.8	3,677
25期(2021年8月2日)	12,868		2,100	39.1	462.33	37.9	95.4	5,477

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) NASDAQ総合指数とは、NASDAQ上場全銘柄の時価総額加重平均により算出され、1971年2月5日を基準値100としています。NASDAQ総合指数(円ヘッジベース)は、NASDAQ総合指数をもとに、委託会社が計算したものです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) N A S D A Q 総 合 指 数		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落 率	(円ヘッジベース)	騰 落 率		
(期 首) 2020年7月31日	円 10,758	% —	335.17	% —	% 95.8	% —
8月末	11,704	8.8	370.11	10.4	91.8	—
9月末	11,197	4.1	350.64	4.6	91.9	—
10月末	11,247	4.5	353.69	5.5	92.8	—
11月末	12,182	13.2	385.79	15.1	93.4	—
12月末	12,746	18.5	405.83	21.1	93.1	—
2021年1月末	13,127	22.0	421.03	25.6	93.2	—
2月末	12,874	19.7	414.05	23.5	93.2	—
3月末	12,846	19.4	411.55	22.8	95.1	—
4月末	13,921	29.4	444.13	32.5	95.3	—
5月末	13,606	26.5	433.48	29.3	97.1	—
6月末	14,651	36.2	457.92	36.6	96.8	—
7月末	15,101	40.4	465.67	38.9	94.5	—
(期 末) 2021年8月2日	14,968	39.1	462.33	37.9	95.4	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

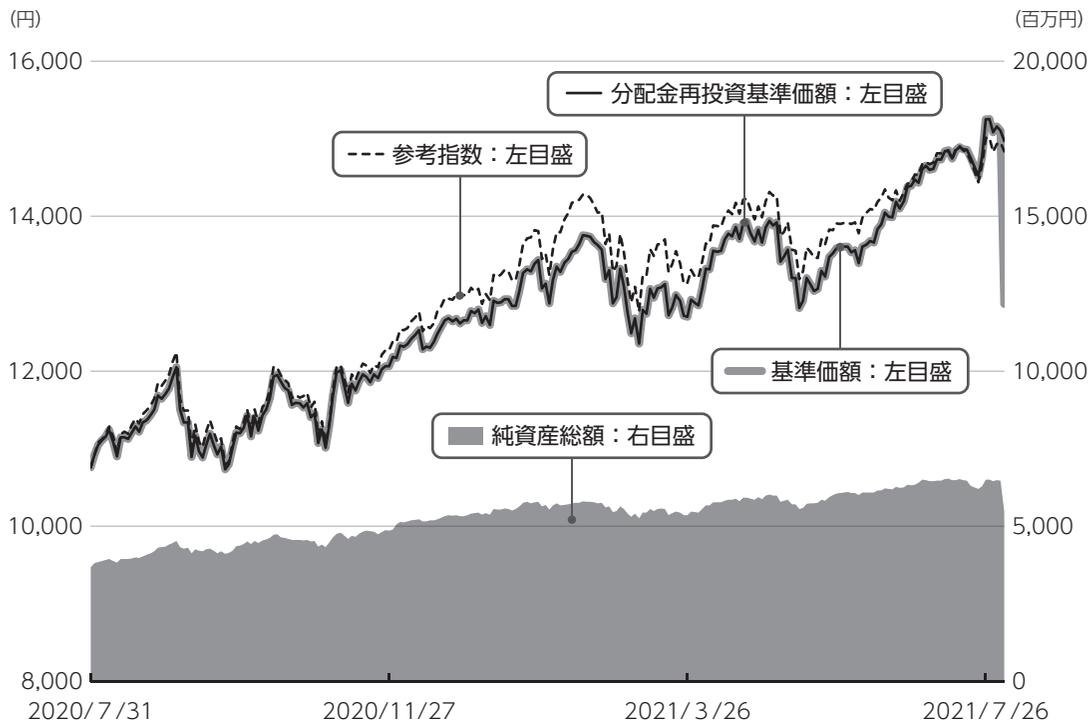
(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第25期：2020年8月1日～2021年8月2日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第25期首	10,758円
第25期末	12,868円
既払分配金	2,100円
騰落率	39.1%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ39.1%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

> 基準価額の主な変動要因**上昇要因**

NASDAQ株式市況全体の上昇や組入銘柄（ALPHABET INC-CL Cなど）の値上がりなどが、基準価額の上昇要因となりました。

第25期：2020年8月1日～2021年8月2日

投資環境について

▶ NASDAQ株式市況

NASDAQ株式市況は上昇しました。

当期のNASDAQ株式市況は、期首から2021年2月にかけては、新型コロナウイルスのワクチン開発が大きく進展し米国や英国を中心に大規模接種が開始されたことから経済正常化への期待が高まり、上昇基調で推移しました。その後、5月にかけて一部の資源価格高騰や供給網

ひっ迫の影響によるインフレ率上昇に対する懸念が強まったことで、一時的に上値の重い展開となりました。6月以降は、米連邦準備制度理事会（FRB）が金融緩和姿勢を当面の間は維持する方針を示したことなどから米国長期金利が低下傾向となり、株式市況が落ち着きを取り戻したことで再び上昇基調で推移しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 三菱UFJ NASDAQオープン Aコース

当ファンドは、NASDAQマザーファンド受益証券を通じて、NASDAQ上場株式（REIT（不動産投資信託証券）含む）に投資しました。また、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図る運用を行いました。

▶ NASDAQマザーファンド

NASDAQ上場株式を主要投資対象とし、新技術・新製品開発力、すぐれたビジネスモデル、マーケティング力に着目し、長期的な成長が期待できる企業を選定し、キャピタルゲインの積極的な獲得をめざしました。銘柄選定にあたっては、キャッシュフロー面等からの割安感にも着目しました。

銘柄数は、期首時点においては、55銘柄としていました。

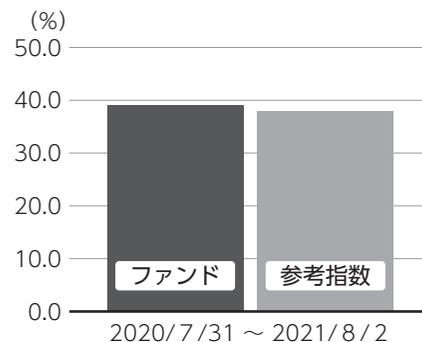
当期においては、アフターコロナの環境下においても業績を着実に伸ばせるか徹底的な企業調査を行い、銘柄数を絞り込むと同時により業績成長確度の高い銘柄への投資配分を引き上げた結果、期末時点の組入銘柄は、38銘柄となりました。

5G対応スマートフォンの普及による製品需要の高まりなどによって業績拡大への期待感が過熱し株価が大きく上昇した「QUALCOMM INC」や在宅勤務拡大による恩恵が大きく業績成長の先食いが懸念された「CITRIX SYSTEMS INC」の全売却を行う一方で、個人向け保険代理店業界において業績を大きく拡大させている「GOOSEHEAD INSURANCE INC -A」やデータ通信速度の高速化から製品需要の高まりが期待される半導体メーカーの「MARVELL TECHNOLOGY INC」などを新たに組み入れました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。参考指数はNASDAQ総合指数（円ヘッジベース）です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第25期 2020年8月1日～2021年8月2日
当期分配金（対基準価額比率）	2,100 (14.030%)
当期の収益	2,100
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	6,165

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶三菱UFJ NASDAQオープン Aコース

NASDAQマザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。

実質組入外貨建資産については原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減に努めます。

▶NASDAQマザーファンド

足元では、新型コロナウイルスのワクチン接種進展により、徐々にではあるものの経済正常化への期待が高まりつつあります。そうした中、経済正常化後もコロナ禍で進んだ個人のインターネットの積極的な活用や、企業の業務効率化や様々な脅威に対応したソフトウェアの積極的な導入、それらを支えるハードウェアやネットワークの高速化などの流れは減速

することはあったとしても決して止まることはないと考えています。当ファンドでは、このような構造的な市場環境の変化をとらえ、NASDAQ市場の中からオンライン商取引の増加やスマートフォンなど様々なデバイスの積極的な活用から恩恵を受けるインターネット関連企業、企業の業務効率化や脅威が高まっているサイバー攻撃に対応したセキュリティ対策などに寄与するソフトウェアの開発企業、ネットワーク上の膨大なデータを処理する必要性から需要が大きく拡大している半導体関連企業、などに注目した銘柄選定を行っています。なお、運用にあたっては、長期的な成長が期待できる企業を基本としたポートフォリオを維持しつつ業績や株価動向などに応じた柔軟な投資判断を適宜行う方針です。

2020年8月1日～2021年8月2日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	215	1.686	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(102)	(0.798)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(99)	(0.776)	交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(14)	(0.111)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	22	0.171	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(22)	(0.169)	
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.002)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.001)	
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	2	0.014	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.011)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	239	1.872	

期中の平均基準価額は、12,783円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

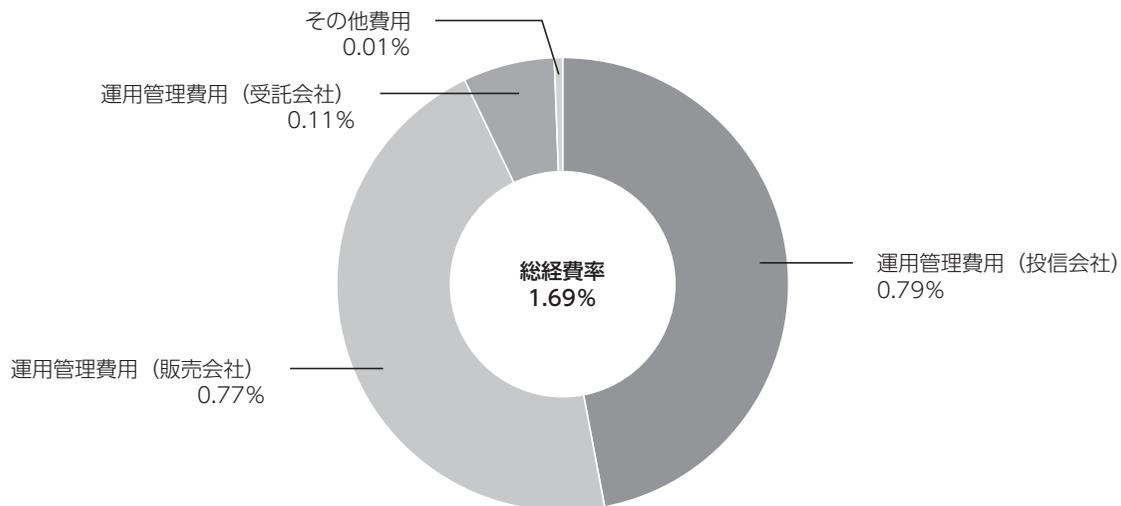
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.69%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年8月1日～2021年8月2日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
NASDAQマザーファンド	千口 380,092	千円 2,395,000	千口 381,250	千円 2,720,000

○株式売買比率

(2020年8月1日～2021年8月2日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	NASDAQマザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	43,537,275千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	23,974,679千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.81

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2020年8月1日～2021年8月2日)

利害関係人との取引状況

<三菱UFJ NASDAQオープン Aコース>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替先物取引	百万円 65,706	百万円 24,603	% 37.4	百万円 67,159	百万円 25,485	% 37.9

<NASDAQマザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 5,922	百万円 1,481	% 25.0	百万円 7,569	百万円 1,540	% 20.3

平均保有割合 21.2%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2021年8月2日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
NASDAQマザーファンド	千口 687,644	千口 686,485	千円 5,446,852

○投資信託財産の構成

(2021年8月2日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
NASDAQマザーファンド	千円 5,446,852	% 84.1
コール・ローン等、その他	1,030,204	15.9
投資信託財産総額	6,477,056	100.0

(注) NASDAQマザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産(28,999,102千円)の投資信託財産総額(29,676,443千円)に対する比率は97.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=109.65円			
-----------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年8月2日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	11,786,348,315
コール・ローン等	125,129,562
NASDAQマザーファンド(評価額)	5,446,852,518
未収入金	6,214,366,235
(B) 負債	6,308,527,672
未払金	5,310,439,664
未払収益分配金	893,976,659
未払解約金	54,449,518
未払信託報酬	49,560,669
未払利息	145
その他未払費用	101,017
(C) 純資産総額(A-B)	5,477,820,643
元本	4,257,031,711
次期繰越損益金	1,220,788,932
(D) 受益権総口数	4,257,031,711口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,868円

<注記事項>

- ①期首元本額 3,418,816,514円
 期中追加設定元本額 3,482,740,518円
 期中一部解約元本額 2,644,525,321円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.2868円です。

②分配金の計算過程

項 目	2020年8月1日～ 2021年8月2日
費用控除後の配当等収益額	26,823,120円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	1,307,009,650円
収益調整金額	1,766,025,514円
分配準備積立金額	418,792,930円
当ファンドの分配対象収益額	3,518,651,214円
1万口当たり収益分配対象額	8,265円
1万口当たり分配金額	2,100円
収益分配金金額	893,976,659円

○損益の状況 (2020年8月1日～2021年8月2日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 18,759
受取利息	131
支払利息	△ 18,890
(B) 有価証券売買損益	1,423,344,627
売買益	2,398,393,956
売買損	△ 975,049,329
(C) 信託報酬等	△ 89,493,098
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,333,832,770
(E) 前期繰越損益金	418,792,930
(F) 追加信託差損益金	362,139,891
(配当等相当額)	(1,763,757,016)
(売買損益相当額)	(△1,401,617,125)
(G) 計(D+E+F)	2,114,765,591
(H) 収益分配金	△ 893,976,659
次期繰越損益金(G+H)	1,220,788,932
追加信託差損益金	362,139,891
(配当等相当額)	(1,766,025,514)
(売買損益相当額)	(△1,403,885,623)
分配準備積立金	858,649,041

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○分配金のお知らせ

1 万円当たり分配金（税込み）	2,100円
-----------------	--------

◆分配金は決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、2021年8月2日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

[お 知 ら せ]

①信託財産留保額の変更のため、信託約款に所要の変更を行いました。

(2020年10月31日)

②市場の制度変更に合わせて記載整備を行い、NASDAQに関する記載の変更のため、信託約款に所要の変更を行いました。

(2021年4月29日)

NASDAQマザーファンド

《第25期》決算日2021年8月2日

〔計算期間：2020年8月1日～2021年8月2日〕

「NASDAQマザーファンド」は、8月2日に第25期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第25期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	NASDAQ市場に上場されている株式を投資対象とし、キャピタルゲインの積極的な獲得をめざします。組入銘柄につきましては、ボトムアップ・アプローチを基本として、個別銘柄のファンダメンタルを重視した銘柄選定を行います。外貨建資産につきましては、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	NASDAQ市場に上場されている株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数)		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	円	騰落率	NASDAQ総合指数 (円換算ベース)	騰落率			
21期(2017年7月31日)	30,521	32.3	703,445.94	33.0	94.9	—	6,609
22期(2018年7月31日)	38,389	25.8	847,006.30	20.4	94.9	—	6,935
23期(2019年7月31日)	41,652	8.5	898,844.99	6.1	93.9	—	11,221
24期(2020年7月31日)	53,114	27.5	1,107,484.93	23.2	96.4	—	16,982
25期(2021年8月2日)	79,344	49.4	1,608,859.36	45.3	96.0	—	25,346

- (注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。
(注) NASDAQ総合指数とは、NASDAQ上場全銘柄の時価総額加重平均により算出され、1971年2月5日を基準価100としています。
NASDAQ総合指数(円換算ベース)は、NASDAQ総合指数をもとに、委託会社が計算したものです。
(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。
(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) N A S D A Q 総 合 指 数		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	(円換算ベース)	騰 落 率		
(期 首) 2020年7月31日	円	%		%	%	%
8月末	53,114	—	1,107,484.93	—	96.4	—
9月末	58,379	9.9	1,232,251.58	11.3	92.4	—
10月末	56,138	5.7	1,172,819.45	5.9	92.6	—
11月末	55,859	5.2	1,170,012.71	5.6	93.1	—
12月末	60,305	13.5	1,268,065.76	14.5	94.0	—
2021年1月末	63,019	18.6	1,329,997.77	20.1	93.6	—
2月末	65,666	23.6	1,393,466.48	25.8	93.9	—
3月末	65,545	23.4	1,393,935.19	25.9	93.6	—
4月末	68,251	28.5	1,444,255.13	30.4	94.8	—
5月末	73,002	37.4	1,534,012.17	38.5	95.9	—
6月末	72,005	35.6	1,509,061.70	36.3	97.7	—
7月末	78,263	47.3	1,606,542.73	45.1	97.2	—
8月末	80,015	50.6	1,618,071.69	46.1	95.5	—
(期 末) 2021年8月2日	79,344	49.4	1,608,859.36	45.3	96.0	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ49.4%の上昇となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

NASDAQ株式市況全体の上昇や組入銘柄(ALPHABET INC-CL Cなど)の値上がりなどが、基準価額の上昇要因となりました。

また、米ドルが対円で上昇したことも基準価額の上昇要因となりました。

●投資環境について

◎NASDAQ株式市況

- ・NASDAQ株式市況は上昇しました。
- ・当期のNASDAQ株式市況は、期首から2021年2月にかけては、新型コロナウイルスのワクチン開発が大きく進展し米国や英国を中心に大規模接種が開始されたことから経済正常化への期待が高まり、上昇基調で推移しました。その後、5月にかけて一部の資源価格高騰や供給網ひっ迫の影響によるインフレ率上昇に対する懸

念が強まったことで、一時的に上値の重い展開となりました。6月以降は、米連邦準備制度理事会（FRB）が金融緩和姿勢を当面の間は維持する方針を示したことなどから米国長期金利が低下傾向となり、株式市況が落ち着きを取り戻したことで再び上昇基調で推移しました。

◎為替市況

- ・円に対して米ドルは上昇しました。
- ・期首から2021年3月にかけて、米国では新型コロナウイルスのワクチン接種の進展によって早期の経済正常化への期待が高まったことなどから長期金利が上昇した一方で、日本ではワクチン接種の遅れなどによって経済正常化が遅れるとの見方が広がったことなどから長期金利が低迷し、日米の長期金利差が拡大してきました。特に2月以降はインフレ率上昇に対する懸念も相まって米国長期金利の先高観が広がり、さらに金利差が拡大するとの見方から円に対して米ドルは大きく上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・NASDAQ上場株式を主要投資対象とし、新技術・新製品開発力、すぐれたビジネスモデル、マーケティング力に着目し、長期的な成長が期待できる企業を選定し、キャピタルゲインの積極的な獲得をめざしました。銘柄選定にあたっては、キャッシュフロー面等からの割安感にも着目しました。
- ・銘柄数は、期首時点においては、55銘柄としていました。
- ・当期においては、アフターコロナの環境下においても業績を着実に伸ばせるか徹底的な企業調査を行い、銘柄数を絞り込むと同時により業績成長確度の高い銘柄への投資配分を引き上げた結果、期末時点の組入銘柄は、38銘柄となりました。

- ・5G対応スマートフォンの普及による製品需要の高まりなどによって業績拡大への期待感が過熱し株価が大きく上昇した「QUALCOMM INC」や在宅勤務拡大による恩恵が大きく業績成長の先食いが懸念された「CITRIX SYSTEMS INC」の全売却を行う一方で、個人向け保険代理店業界において業績を大きく拡大させている「GOOSEHEAD INSURANCE INC -A」やデータ通信速度の高速化から製品需要の高まりが期待される半導体メーカーの「MARVELL TECHNOLOGY INC」などを新たに組み入れました。

○今後の運用方針

- ・足元では、新型コロナウイルスのワクチン接種進展により、徐々にではあるものの経済正常化への期待が高まりつつあります。そうした中、経済正常化後もコロナ禍で進んだ個人のインターネットの積極的な活用や、企業の業務効率化や様々な脅威に対応したソフトウェアの積極的な導入、それらを支えるハードウェアやネットワークの高速化などの流れは減速することはないと考えています。当ファンドでは、このような構造的な市場環境の変化をとらえ、NASDAQ市場の中からオンライン商取引の増加やスマートフォンなど様々なデバイスの積極的な活用から恩恵を受けるインターネット関連企業、企業の業務効率化や脅威が高まっているサイバー攻撃に対応したセキュリティ対策などに寄与するソフトウェアの開発企業、ネットワーク上の膨大なデータを処理する必要性から需要が大きく拡大している半導体関連企業、などに注目した銘柄選定を行っています。なお、運用にあたっては、長期的な成長が期待できる企業を基本としたポートフォリオを維持しつつ業績や株価動向などに応じた柔軟な投資判断を適宜行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2020年8月1日～2021年8月2日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	円 111 (110) (1)	% 0.170 (0.168) (0.002)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	1 (1) (0)	0.001 (0.001) (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	7 (7) (0)	0.011 (0.011) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	119	0.182	
期中の平均基準価額は、65,510円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2020年8月1日～2021年8月2日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 14,170 (1,839)	千アメリカドル 194,996 (-)	百株 14,759	千アメリカドル 210,523

(注) 金額は受渡金。

(注) ()内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	アメリカ	千口	千アメリカドル	千口	千アメリカドル
	EQUINIX INC	1	1,177	3	2,890

(注) 金額は受渡代金。

○株式売買比率

(2020年8月1日～2021年8月2日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	43,537,275千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	23,974,679千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.81

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2020年8月1日～2021年8月2日)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 1,481	% 25.0	百万円 7,569	百万円 1,540	% 20.3	

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2021年8月2日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円	
AUTOMATIC DATA PROCESSING	57	—	—	—	ソフトウェア・サービス
ADVANCED MICRO DEVICES	403	250	2,661	291,885	半導体・半導体製造装置
CSX CORP	216	—	—	—	運輸
CME GROUP INC	123	—	—	—	各種金融
PEPSICO INC	228	—	—	—	食品・飲料・タバコ
TEXAS INSTRUMENTS INC	96	176	3,354	367,866	半導体・半導体製造装置
WALGREENS BOOTS ALLIANCE INC	419	—	—	—	食品・生活必需品小売り
XCEL ENERGY INC	305	—	—	—	公益事業
CADENCE DESIGN SYS INC	430	507	7,485	820,824	ソフトウェア・サービス
INTEL CORP	458	—	—	—	半導体・半導体製造装置
CISCO SYSTEMS INC	614	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
CINTAS CORP	78	126	4,966	544,595	商業・専門サービス
COSTCO WHOLESALE CORP	72	116	4,984	546,578	食品・生活必需品小売り
APPLIED MATERIALS INC	270	370	5,177	567,703	半導体・半導体製造装置
ELECTRONIC ARTS INC	162	—	—	—	メディア・娯楽
MICROSOFT CORP	679	704	20,057	2,199,322	ソフトウェア・サービス
STARBUCKS CORP	—	275	3,339	366,156	消費者サービス
NETFLIX INC	45	87	4,502	493,738	メディア・娯楽
O'REILLY AUTOMOTIVE INC	49	—	—	—	小売
ACTIVISION BLIZZARD INC	289	227	1,898	208,134	メディア・娯楽
ASML HOLDING NV-NY REG SHS	64	70	5,367	588,511	半導体・半導体製造装置
POOL CORP	58	—	—	—	小売
LAM RESEARCH CORP	117	76	4,844	531,179	半導体・半導体製造装置
COPART INC	208	305	4,483	491,615	商業・専門サービス
COMCAST CORP-CLASS A	—	500	2,941	322,535	メディア・娯楽
ALIGN TECHNOLOGY INC	24	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
CITRIX SYSTEMS INC	266	—	—	—	ソフトウェア・サービス
INTUITIVE SURGICAL INC	43	79	7,921	868,621	ヘルスケア機器・サービス
INTUIT INC	56	—	—	—	ソフトウェア・サービス
SVB FINANCIAL GROUP	143	98	5,389	590,970	銀行
QUALCOMM INC	490	—	—	—	半導体・半導体製造装置
AMAZON.COM INC	44	56	18,634	2,043,273	小売
KLA CORP	64	—	—	—	半導体・半導体製造装置
BIOGEN INC	18	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ADOBE INC	62	125	7,802	855,497	ソフトウェア・サービス
FASTENAL CO	263	—	—	—	資本財
APPLE INC	319	461	6,728	737,814	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
COSTAR GROUP INC	27	540	4,797	526,089	商業・専門サービス
LULULEMON ATHLETICA INC	—	111	4,441	487,052	耐久消費財・アパレル
KEURIG DR PEPPER INC	—	1,022	3,598	394,571	食品・飲料・タバコ
T-MOBILE US INC	212	—	—	—	電気通信サービス
VERISK ANALYTICS INC	73	—	—	—	商業・専門サービス
UNITED AIRLINES HOLDINGS INC	179	—	—	—	運輸
FACEBOOK INC-CLASS A	246	156	5,558	609,465	メディア・娯楽
TESLA INC	15	38	2,611	286,335	自動車・自動車部品
ALPHABET INC-CL C	53	73	19,964	2,189,055	メディア・娯楽

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
DIAMONDBACK ENERGY INC	168	—	—	—	エネルギー	
PAYPAL HOLDINGS INC	168	277	7,632	836,868	ソフトウェア・サービス	
HORIZON THERAPEUTICS PLC	—	699	6,991	766,606	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
CDW CORP/DE	—	145	2,658	291,512	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
IDEXX LABORATORIES INC	49	49	3,324	364,563	ヘルスケア機器・サービス	
ATLASSIAN CORP PLC-CLASS A	94	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
NOVOCURE LTD	176	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス	
BROADCOM INC	56	100	4,854	532,241	半導体・半導体製造装置	
GDS HOLDINGS LTD - ADR	201	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
TRADE DESK INC/THE -CLASS A	—	266	2,178	238,906	ソフトウェア・サービス	
CAESARS ENTERTAINMENT INC	—	269	2,349	257,675	消費者サービス	
CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - A	162	276	6,999	767,510	ソフトウェア・サービス	
TRADEWEB MARKETS INC-CLASS A	—	286	2,480	271,984	各種金融	
ETSY INC	108	—	—	—	小売	
BEYOND MEAT INC	165	180	2,208	242,172	食品・飲料・タバコ	
PPD INC	268	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
MATCH GROUP INC	135	—	—	—	メディア・娯楽	
GOOSEHEAD INSURANCE INC -A	—	601	7,223	792,047	保険	
AIRBNB INC-CLASS A	—	156	2,246	246,334	消費者サービス	
MARVELL TECHNOLOGY INC	—	1,190	7,200	789,555	半導体・半導体製造装置	
合計	株数・金額	9,794	11,045	221,863	24,327,375	
	銘柄数<比率>	54	38	—	<96.0%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

外国投資信託証券

2021年8月2日現在の組入れはございません。

銘柄	口数	期首(前期末)
		口数
(アメリカ)		千口
EQUINIX INC		2
合計	口数	2
	銘柄数	1

○投資信託財産の構成

(2021年8月2日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	24,327,375	82.0
コール・ローン等、その他	5,349,068	18.0
投資信託財産総額	29,676,443	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (28,999,102千円) の投資信託財産総額 (29,676,443千円) に対する比率は97.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=109.65円		
------------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年8月2日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	33,706,770,385
コール・ローン等	1,331,761,800
株式(評価額)	24,327,375,802
未収入金	8,044,956,841
未収配当金	2,675,942
(B) 負債	8,360,180,476
未払金	4,036,179,690
未払解約金	4,324,000,000
未払利息	786
(C) 純資産総額(A-B)	25,346,589,909
元本	3,194,506,712
次期繰越損益金	22,152,083,197
(D) 受益権総口数	3,194,506,712口
1万口当たり基準価額(C/D)	79,344円

<注記事項>

- ①期首元本額 3,197,455,240円
 期中追加設定元本額 1,372,308,101円
 期中一部解約元本額 1,375,256,629円
 また、1口当たり純資産額は、期末7.9344円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ NASDAQオープン Bコース	2,508,020,964円
三菱UFJ NASDAQオープン Aコース	686,485,748円
合計	3,194,506,712円

【お知らせ】

- ①信託財産留保額の設定のため、信託約款に所要の変更を行いました。
 (2020年10月31日)
- ②市場の制度変更に合わせて記載整備を行い、NASDAQに関する記載の変更のため、信託約款に所要の変更を行いました。
 (2021年4月29日)

○損益の状況 (2020年8月1日~2021年8月2日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	137,298,460
受取配当金	136,818,363
受取利息	819
その他収益金	577,859
支払利息	△ 98,581
(B) 有価証券売買損益	9,758,132,639
売買益	10,314,478,671
売買損	△ 556,346,032
(C) 保管費用等	△ 2,767,499
(D) 当期損益金(A+B+C)	9,892,663,600
(E) 前期繰越損益金	13,785,471,069
(F) 追加信託差損益金	7,018,691,899
(G) 解約差損益金	△ 8,544,743,371
(H) 計(D+E+F+G)	22,152,083,197
次期繰越損益金(H)	22,152,083,197

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。